

広島交響楽団 シン・ディスカバリー・シリーズ 被爆80周年〈ヒロシマとモーツァルト〉

Hiroshima Symphony Orchestra Discovery Series

The 80th anniversary of atomic bombing “Hiroshima & Mozart”



《Piece of Peace》
平和のかけら



ピアノ：小菅 優

Piano : Yu Kosuge

2025.7.24 木 18:45開演
(17:45開場)

JMSアステールプラザ 大ホール

Thursday July 24, 2025 Start 18:45 [Open 17:45]
JMS Aster Plaza Hall

第2回

◆ペンデレツキ：広島犠牲者に捧げる哀歌

Penderecki : Threnody to the Victims of Hiroshima

◆藤倉大：ピアノ協奏曲第4番「Akiko's Piano」

Dai Fujikura : Piano Concerto No.4 "Akiko's Piano"

◆モーツァルト：交響曲第38番ニ長調 K.504「プラハ」

Mozart : Symphony No.38 in D major K.504 "Prague"

コンサートマスター：四方 恭子、蔵川 瑠美

Concertmaster : Kyoko Shikata , Rumi Kurakawa

指揮（音楽監督）：

クリスティアン・アルミンク

Conductor : Christian Arming



©Shumpei Ohsugi

■チケット料金(税込／全席指定)

S:¥5,800 A:¥4,800 B:¥3,800 (学生:1,500円)

学生席は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみ取扱い)

■チケット発売日／2025年5月26日(月)

■チケット取扱い／広響事務局、JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

■主催／公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

■共催／公益財団法人広島市文化財団

■協賛／中国電力、ひろぎんホールディングス、広島電鉄、マツダ

■後援／広島市、広島市教育委員会

■助成／



文化庁文化芸術振興費補助金

(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))

独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人 合人社財団

■お問い合わせ／広響事務局 082-532-3080

■公式ホームページ／ <http://hirokyo.or.jp/>



被爆80周年

〈ヒロシマとモーツァルト〉

私が音楽監督に就任して最初のシーズンは、母国オーストリアに関わりの深いモーツァルトとコルンゴルトを「ふたりのヴォルフガング」というタイトルでお贈りしました。そして2年目のシーズンを考えた時、まずモーツァルトはオーケストラの音創りでとても大切ですので、これは続けようと。そしてモーツァルトに対峙する作品は？としたところ、2025年は広島に原爆が投下されてから80年の節目ですので、「ヒロシマ」を題材、または関係する作品を紹介できないかと考えました。幸いそれらの作品の情報については楽団に蓄積されていたのですが、ペンデレツキのように過去何度も演奏された定番の作品や、近年作曲された藤倉や、コンポーザー・イン・レジデンスを務める細川作品の他、広響が初めて取り組む演目として、ジョン・アダムズと大木正夫をラインナップに取り入れました。2023年には映画「オッペンハイマー」が広島でも上演されたと聞きます。また2016年には当時米国のオバマ大統領が広島を訪れ、歓迎を持って受け入れられました。世界中の人たちが「広島」の寛容と慈愛に心を揺さぶられた瞬間でした。広島交響楽団はこれからも Music for Peace をモットーに音楽活動を行っていきます。皆様の温かい応援への感謝と原爆犠牲者への追悼を込めて、最後はモーツァルトのレクイエムで締めくくりたいと思います。

広島交響楽団 音楽監督
クリスティアン・アルミンク



指揮
クリスティアン・アルミンク
Conductor : Christian Arming

ウィーン生まれ。レオポルト・ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ボストン響や新日本フィルにデビュー。ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場およびルツェルン響の音楽監督などを経て、2003～13年に新日本フィル、2011～19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍。2017年から広島交響楽団の首席客演指揮者を務め、2024年に同団の音楽監督に就任した。

これまでにチェコ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、フランクフルト放送響、ウィーン響、ザルツブルク・モーツァルテウム管、トゥールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマンド管、ボストン響、シンシナティ響、N響などに招かれ、オペラではフランクフルトやストラスブールの歌劇場、新日本フィルなどで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。2019年に小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトで小澤征爾と共に《カルメン》全4公演、2024年に東京二期会オペラ《コジ・ファン・トゥッテ》全6公演を指揮した。レコーディングも数多く、ヤナーチェク・フィルとのヤナーチェク、シューベルト作品、新日本フィルとのブラームス／交響曲第1番、マーラー／交響曲第3番および第5番、リエージュ・フィルとのフランク／交響曲二短調などで高い評価を得ている。2025年4月には、広響音楽監督就任披露公演で取り上げたR.シュトラウス／アルプス交響曲のライブ録音をリリースした。



ピアノ
小菅 優
Piano : Yu Kosuge

9歳より演奏活動を開始し、2005年カーネギーホールで、翌06年には、ザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタル・デビュー。ドミトリエフ、デュトワ、小澤、ノリントン、オラモ、ノットなどの指揮でベルリン響、フランクフルト放送響、シュトゥットガルト放送響、BBC響、NDR北ドイツ放送フィル、サンクトペテルブルク響、フィンランド放送響、フランス放送響、スイス・ロマンド管等と共演。ザルツブルク音楽祭ではポゴレリッチの代役としてヘレヴェッヘ指揮カメラータ・ザルツブルクと共演。2010年から15年まで、東京、大阪でベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏会（全8回）を行った。さらに現在はソロだけでなく室内楽や歌曲伴奏を含む、ベートーヴェンのすべてのピアノ付き作品を徐々に取り上げる企画「ベートーヴェン詣」に取り組んでいる。

録音は、ソニーから発売している最新盤のライアン・ウィグルスワース指揮 BBC交響楽団による『藤倉大:ピアノ協奏曲＜インパルス＞&WHIM／ラヴェル:ピアノ協奏曲ト長調』（第77回文化庁芸術祭優秀賞受賞）をはじめ数多い。

第13回新日鉄音楽賞、第17回出光音楽賞などを受賞。2014年に第64回芸術選奨音楽部門 文部科学大臣新人賞、2017年第48回サントリー音楽賞受賞。2017年から4年にわたり、4つの元素「水・火・風・大地」をテーマにしたリサイタル・シリーズ『Four Elements』を開催し好評を博した。2023年よりピアノ・ソナタに焦点をあてた新プロジェクト”ソナタ・シリーズ”を始動。

次回ディスカバリー・シリーズ

広島交響楽団 シン・ディスカバリー・シリーズ
被爆80周年 〈ヒロシマとモーツァルト〉

2025.10.31 金 18:45開演 (17:45開場)

JMSアステールプラザ 大ホール

■指揮:クリスティアン・アルミンク

大木正夫:交響曲第5番「ヒロシマ」

モーツァルト:交響曲第41番ハ長調 K.551「ジュピター」



©Shumpei Ohsugi

第3回